

# さがえの“ものづくり企業”レポート



## 株式会社 マイスター

### 会社概要

代表者 高井 作  
住 所 〒991-0061 山形県寒河江市中央工業団地 156-1  
電 話 0237(86)4500  
従業員数 53名(H21年8月現在)

### 企業理念

「協調・共感・共演」

### 事業内容

切削工具加工、精密冶工具加工



代表取締役：高井 作 様

レポーター

[山形県立寒河江工業高等学校](#)

機械科 2年 佐藤敬弘・志田龍太・柴田航



## ～ インタビュー内容 ～

Q、志田龍太

私達は、ドリル研削や工場見学の実習を、2回体験させていただきました。現在は、素晴らしい施設・設備がそろっておりますが、創業時、苦労した点を教えてください。

A、高井社長

昭和51年に創立しました。当時は、お金も技術もお客様もなく、ゼロからのスタートでした。刃物の研削は、ほとんど外注せず我が社の職人が行っていました。多くの仕事を得るには、職人一人一人が技術を修得することが必要でした。そのため県外に修行に行かせ、技術の修得に時間をかけました。「いかに、お客様に喜んでもらえる商品をつくるための技術が修得できるか」ということが一番苦労した点です。私は、一人では何も出来ませんでした。友人、親戚や地域の方々から支えていただき、現在の自分が在ります。



Q、志田龍太

工場見学の際に、御社の工場の形が三角形なのに驚きましたが、この形には理由があるのですか？

A、高井社長

工場が三角形なので東西南北がなく「無限の考え、発想」ができるという意味合いを持っています。また、三角形は強度的に強い、デッドスペースが無い、人の動き・情報が直線的に伝わり効率向上に繋がります。本当は、ピラミッド型の工場を作りたかったのですが、技術的に難しい点が

あり、今の形になりました。今の工場には、大変満足しています。

---

Q、志田龍太

工場には「未来・結い工房」と掲げられておりますが、理由をおしえて下さい。

A、高井社長

「結い」とは、互いに助け合う、協調しあう（自分の人生と仕事、相手によって自分が生きていられる）という意味を持っています。日本には、「連」という古来からの考えがあり、その中に「結い」があります。また、みんなで力を合わせ未来に発展していこうという意味です。

---

Q、志田龍太

一言でいうと、御社（マイスター社）の「自慢」は何ですか？

A、高井社長

量産作業ではなく、「考える仕事」を扱っていることが自慢です。いつも違う、やった時が無い、毎日が挑戦なのです。

---

Q、佐藤敬弘

会社経営で最も気を遣っているところはなんですか？

A、高井社長

私達は起きている時間の半分は仕事をしています。人生の半分は仕事をしていると云っても過言ではありません。そこで、社員の人生と仕事との協調と充実が大切だと思って経営の基本にしています。



---

Q、志田龍太

「環境保全」にも取り組んでいるとお聞きしましたが、具体的に教えて下さい。

A、高井社長

山形県の中では早期にエコアクション2.1を取得して環境保全に取り組んできました。冷暖房設備は二酸化炭素排出が少ない機器を選んだり、必要の無い蛍光灯を外したりしています。また、2階屋上を緑化するなどしています。全社員で二酸化炭素の削減に取り組んでいます。今年はCO<sub>2</sub>の排出5%削減を目標としています。

---

Q、佐藤敬弘

地域に対しての「貢献活動」が盛んだとお聞きしましたが、どのような活動を行っているのですか？

A、高井社長

工場周辺ゴミ拾いやチェリーランド内の清掃活動を行っています。また農商工連携などを中心に、地域への貢献にも力を入れています。

---



Q、佐藤敬弘

自社製造している機械があるとお聞きしましたが、何種類ぐらいあり、どのような機械ですか？

A、高井社長

6種類ほどあります。刃物を研削するエキセントリックマシンや超音波援用加工、電気援用加工の機械があります。

---

Q、佐藤敬弘

社長さんは大変忙しいと思いますが、何か趣味を持っているのですか？

A、高井社長

山での枝打ち（山の手入れ）や自転車で寺めぐり。その他、模型飛行機製作・けんだま・凧あげ・俳句・詩・読書・童謡・ラジボール・写真などです。特に、山には魅力を感じます。

---

Q、佐藤敬弘

高井社長の「青春時代」を教えてください。

A、高井社長

18歳のときにモダンジャズに夢中になりました。学校よりもモダン喫茶を大切にし、そこで音楽や読書などの面白さを知りました。ジャズの雰囲気の中、哲学する心を学びました。

---

Q、佐藤敬弘

[切削フォーラム21](#)を設立し、会長をなさっているとお聞きしました。どのようなものなのか教えてください。また、今後の展望もお聞かせ下さい。

A、高井社長

全国に90社、大手メーカーから個人の会員もいる「切削」をキーワードとした交流ネットワークです。技術的な勉強会や施設見学などを行っています。切削技術の社会的な必要性を認識してもらうように活動しています。



---

Q、佐藤敬弘

現代の若者に望むことは何ですか。

A、高井社長

よい師（先生）を見つけてください。よい師に出会うためには自分を高めないと先生のよさを知ることが出来ません。本（活字）を読んで下さい。また、多くのことにチャレンジして、悩んで下さい。失敗を重ね経験を積む事が大切です。

---

Q、佐藤敬弘

技能者の育成について、どのように取り組まれているのですか？

A、高井社長

マイスターカレッジという仕組みを整え、社員が学習しやすいようにしています。講習会を開催したり、社員が自ら講師となり全社員で教え教えられるながら技能検定の取得を目指して技能向上に取り組んでいます。

---

## ～ インタビューを終えての感想 ～

佐藤敬弘

今回、社長インタビューをして多くの話を聞くことができました。創業時、とても苦労し地域の方々や親類、友達などの協力を得て資本金を集めて会社を設立したこと。多くの趣味を持ち、いろいろな経験をなされたこと。会社の方針、現代の若者に望むことなどわかりやすくとても楽しく聞くことができました。

趣味の話では、とても生き生きして聞いていた私も、時間を忘れるほどでした。今回、私にとって貴重な経験となりました。この経験を忘れず進路に活かしたいと思います。

---

志田龍太

今回、社長インタビューで特に印象深いのは、技能者の育成についての質問の答えで、多能工化を図っているということでした。一人が一つの機械だけでなく、複数の機械を使えるようにすることでした。私は、その話を聞いて、私自身もいろいろな工作機械に触れて、どんな機械でも使えるように、技能検定などに挑戦していきたいと思いました。

---

柴田 航

今回、マイスターの社長さんにインタビューをして、将来に役立つ貴重なお話をたくさんお聞きすることが出来ました。とても優しく、多くの経験や趣味をお持ちでした。そんなたくさん経験の中で最も印象に残ったお話は、「現代の若者に望むこと」でした。それは、若い頃にたくさん失敗し、大いに悩むことが大切であるということです。今では笑ってしまうようなこともたくさんあると、分かりやすく教えていただきました。他にも、自分を高めて「よい師」を見つける事、本からたくさん語意を学べば豊かな人生を送れる事などを学ぶ事ができました。今回のインタビューで最初は緊張していましたが、様々な話を聞いているうちに緊張もほぐれ楽しく聞くことができました。今回の貴重な体験を基に、これからの生活を充実させていきたいです。

---